



平成30年1月30日

各 位

会社名 ヤマトホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 山内 雅 喜
(コード番号9064 東証第1部)
問合せ先 専務執行役員 財務戦略担当 芝 崎 健 一
(電話番号 03-3541-4141)

平成30年3月期 連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成29年10月31日に公表した平成30年3月期の通期の連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

通期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,502,000	25,000	25,000	12,000	30円44銭
今回修正予想 (B)	1,530,000	31,000	31,000	14,500	36円78銭
増 減 額 (B-A)	28,000	6,000	6,000	2,500	6円34銭
増 減 率 %	1.9%	24.0%	24.0%	20.8%	20.8%
(ご参考) 前 期 実 績 (平成29年3月期)	1,466,852	34,885	34,884	18,053	45円37銭

2. 業績予想の修正の理由

ヤマトグループは高品質なサービスを提供し続けるため、「働き方改革」を経営の中心に据え、労働環境の改善・整備を図るとともに、デリバリー事業においては、「デリバリー事業の構造改革」を推進しております。大口の法人のお客様に対し、出荷調整や再配達削減などを要請するとともに、法人のお客様に対し、運賃の見直し交渉を進め、既に多くのお客様にご理解とご協力をいただいております。なお、交渉途上にある法人のお客様とは交渉を継続しています。その結果、当第3四半期は、宅急便取扱数量が減少に転じ、プライシングの適正化により宅急便単価が上昇し始めるなど、「働き方改革」の推進などにより費用が増加する中で、業績は回復基調となりました。

「働き方改革」を中心とした構造改革は途上にあり、今後も改革に必要な費用の増加などを予定しておりますが、平成30年3月期の通期の業績につきましては、上記の通り、前回発表予想（平成29年10月31日発表）を修正することといたしました。

ヤマトグループは、今後とも社会的インフラとしての使命を果たしつつ、将来に亘って成長を続ける企業を目指してまいります。

※業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上